

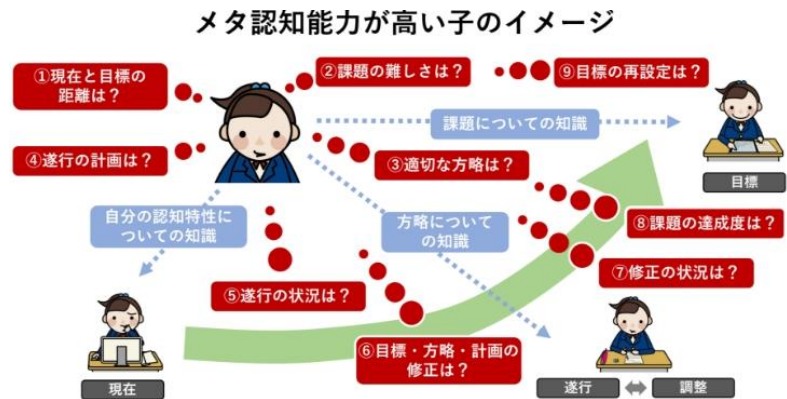


「メタ認知」を働かせるために自分の認知特性を知る

子供が自分を客観視できるようになると、主体的に学習に向かう態度が身に付き、成績アップにつながりやすくなると言われています。自分を客観的に理解する力を「メタ認知」といいます。

「ベネッセ教育情報」から引用 (https://benesse.jp/educational_terms/25.html)

子どもたちにはそれぞれの認知特性があり、これが個性です。本人が学びやすくなったり生活しやすくなったりするようにするためには、本人の認知特性をしっかりと理解し(メタ認知)、それに合った学習方法、言葉掛けや指導をすることが大切です。



特性を客観的に知る方法としてよく使用される検査に、WISC-VとKABC-IIという知能検査があります。

◎WISC-V :

○一般的な認知発達の状態がわかります。

- ①言語の能力 ②見て処理する能力 ③推理する能力 ④短期に記憶する能力 ⑤素早く処理する能力

◎KABC-II :

○一般的な認知処理能力がわかります。

- ①順番に処理する能力 ②全体として捉える能力 ③計画する能力 ④新しいことを学習する能力

○学習の積み重ねの能力がわかります。 ①語彙の力 ②読解力 ③書きや作文能力 ④算数的な能力

○知的発達の総合的な力がわかります。(WISC-Vと同じCHC理論に基づいている能力です。)

- ①長期記憶能力 ②短期に記憶する能力 ③見て処理する能力 ④推理する能力

- ⑤言語の能力 ⑥数学的能力 ⑦読み書き能力

特性の理解方法や指導法について詳しくお知りになりたい方は、スクールカウンセラーにご相談ください。

教育相談の申し込み方法

sigfy



直接またはお電話で、副校長・担任・養護教諭・スクールカウンセラーにお申込みください。

関町北小学校 電話：03-3920-1027

11月からsigfyでも予約できるようになりました。左のQRコードから申し込みます。

相談枠：①9:35 ②10:40 ③11:30 ④13:40 ⑤14:30 ⑥15:30 ⑦16:30

1回45分が基本です。枠外は、ご相談ください。勤務時間：9:30～18:00

1月・2月の出勤予定日

1月10日(金), 17日(金), 24日(金), 31日(金)午前

2月3日(月), 10日(月), 19日(水), 27日(木)